

# 佐久建設事務所 電線共同溝事業による整備効果事例

## 一般県道旧軽井沢軽井沢(停)線 軽井沢町 軽井沢地区 (電線共同溝事業)

- 県道旧軽井沢軽井沢(停)線はJR軽井沢駅と旧軽井沢銀座を結ぶ主要幹線道路であり年間を通じて大勢の観光客が訪れる国際親善文化観光都市軽井沢の玄関口である。
- 歩行者数は、平日12時間で1,200人余りを数え、安全な通行空間の確保、都市景観及び防災面の向上が求められていた。
- 平成18年度より465m区間について、電線共同溝に着手。



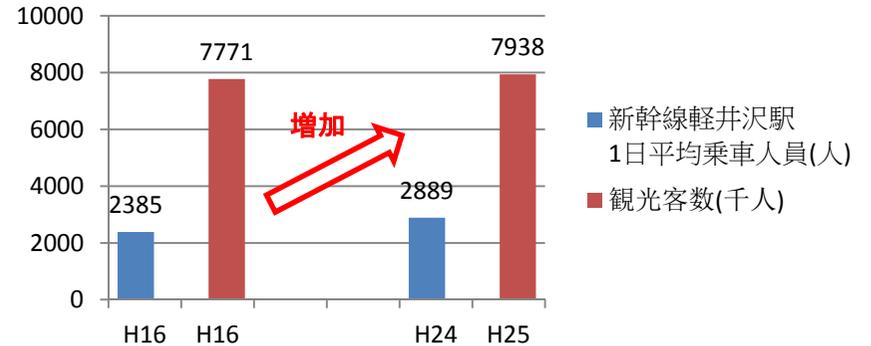
### 事業概要

事業延長 L=465m  
 幅員 W=13.0(22.0)m  
 事業期間 平成18年度～平成23年度  
 平成24年 完成

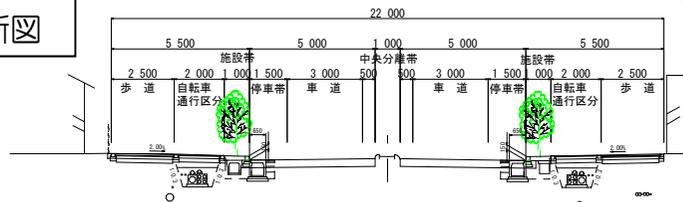
### 整備効果

電柱が無くなることで道路の幅員が広がり、歩道が広く利用でき、歩行者と自動車が共に安全に通行できるようになった。整備後、観光客数が増加している。

### 概要図



### 標準横断図



整備前



整備後

# 佐久建設事務所 電線共同溝事業による整備効果事例

一般県道旧軽井沢軽井沢(停)線 軽井沢町 軽井沢地区 (電線共同溝事業)

## 【景観面】

地上にはりめぐらされた電線や林立した電柱がなくなり、美しい街並みが形成。

➡ 美しい山々を眺めながら、  
観光やサイクリングが楽しめる。



電柱及び電線が無くなり、景観がよくなった。  
地元の反響も良い。

地元住民  
(ヒアリング)

引続き、電線共同溝事業を行って欲しい。

商工会  
(ヒアリング)



整備済



未整備



## 【防災面】

災害時に情報通信回路の被害を軽減させ、ライフラインの安全性・信頼性が向上。

平成26年2月14日からの豪雪による停電の被害なし。

[軽井沢町 最大積雪深99cm(観測史上最大)]

